

【目標値】・成人の喫煙率 (H28) 男性 28.6%、女性 7.4% → (R5) 男性20%以下、女性5%以下
 ・降圧剤の服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合 (H28) 男性 32.5%、女性 30.4% → (R5) 男女とも30%未満

→ 脳血管疾患の年齢調整死亡率（10万人あたり） (H27) 男性37.6、女性20.2 → (R5) 男性34.0、女性16.0
 虚血性心疾患の年齢調整死亡率（10万人あたり） (H27) 男性36.1、女性11.7 → (R5) 男性33.0、女性11.0

1 現 状

◆高知県循環器病対策推進計画を令和3年度に策定。

【患者の実態】

- ◆令和2年度の脳卒中発症者数3,238人のうち約70%は脳梗塞であり、76%は高血圧症、39%は脂質異常症患者である。（R2年度高知県脳卒中患者実態調査）
- ◆急性心筋梗塞の発症者数は未把握であるが、年齢調整死亡率は男性21.54(全国2位)、女性7.86(全国3位)と高い。（H27人口動態統計特殊報告）
- ◆高知県の医療診療医療費の2割は循環器疾患にかかる費用である。また、脳梗塞の一人当たりの医療費は17,926円となっており、全国（8,797円）に比べ高い。（R1年度NDBデータ）
- ◆要介護及び要支援の原因は、循環器疾患が20%を占める。（R1年国民生活基礎調査）

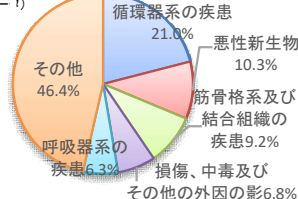
【リスク管理】

- ◆減塩：推定一日塩分摂取量測定事業（27市町村）では、塩分過剰摂取（1日8g超え）の割合は、男性73.1%、女性70.2%である。（R3年度推定塩分摂取量測定事業 12月末）
- ◆血圧管理：降圧剤服用者で収縮期血圧140mmHg以上の割合は、男性34.5%、女性31.0%で男性が増加傾向にある。（R1特定健診結果）
- ◆禁煙：ニコチン依存症管理料算定医療機関は107医療機関。（R3.10.1現在）
また、R2年度949人に算定し、うち禁煙につながった者は66.4%と増加傾向である。（出典：四国厚生支局）

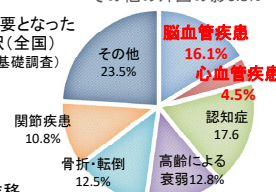
【再発・重症化予防】

- ◆脳卒中：発症者の30.3%は再発者である。（R2年高知県脳卒中患者実態調査）
- ◆慢性心不全患者の1年以内の再入院率は27.9%である。（高知県非代償性心不全患者レジストリ研究：R3年10月現在）

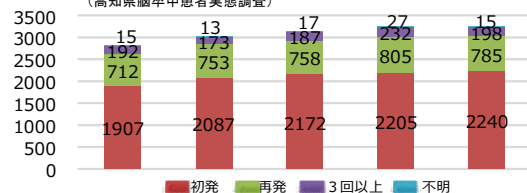
(図1) R1年度高知県医療診療医療費の構成割合
(R1年度NDBデータ)



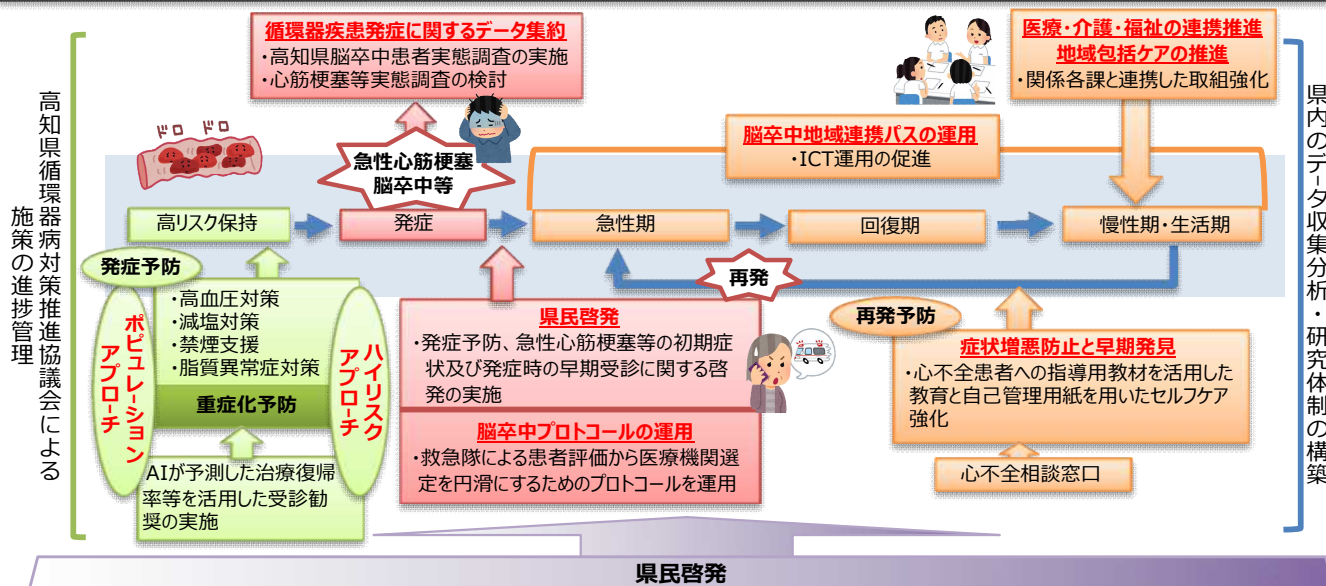
(図2) 介護が必要となった主な原因内訳(全国)
(R1年国民生活基礎調査)



(図3) 脳卒中発症者数の推移
(高知県脳卒中患者実態調査)



3 今後の取り組みの方向性



2 課 題

【発症予防と早期受診・治療】

- ◆発症の2大リスクである高血圧対策、喫煙対策の充実・強化が必要
- ◆脳梗塞等を引き起こす高血圧、高脂血症等が適正治療につながるよう、未治療、治療中断者への介入が必要
- ◆急性心筋梗塞の発症予防及び発症時の早期治療のための周知啓発が必要
- ◆循環器疾患の実態把握のため、データ集約及び分析・研究体制構築の推進が必要

【再発・合併症・重症化予防】

- ◆脳卒中の再発、合併症予防のため、地域連携パスの活用促進及び介護職等在宅療養支援者への正しい知識の普及啓発が必要
- ◆心不全の再発を予防するため、患者の自己管理と医療連携により、増悪のサインを把握し早期に適正医療につなぐ体制が必要

4 令和4年度の取り組み

【発症予防と早期受診・治療】

◆高血圧対策

- ・医療機関、健診機関、薬局等での家庭血圧測定と記録の指導
- ・推定塩分摂取量の測定結果の活用による保健指導の充実
- ・減塩プロジェクト参加企業の量販店等と連携し、幅広い年代の県民に減塩の必要性や減塩商品の紹介などの啓発を実施

◆禁煙支援・治療の指導者の養成

- ・禁煙治療を行う医師や保健指導を行う保健師等を対象としたe-ラーニング研修を実施

◆発症予防及び早期受診の啓発

- ・公開講座の開催やホームページ、SNSを活用した急性心筋梗塞の症状及び発症時の早期受診についての産官学連携による県民啓発

◆ハイリスク者の未治療・治療中断者への受診勧奨

- ・モデル市町村でAIが予測した治療復帰率と重症化傾向を活用し未治療者、治療中断者への受診勧奨を実施

◆循環器疾患発症に関するデータ集約

- ・高知県脳卒中患者実態調査の継続
- ・急性心筋梗塞等心疾患に関するデータ集約体制構築に向けたWGの実施
- ・産官学連携による心筋梗塞などの実態調査と予後改善の研究促進

【再発・合併症・重症化予防】

◆脳卒中対策

- ・脳卒中地域連携パスのICT運用普及のため高知あんしんネットの利用促進の啓発

◆心血管疾患対策

- ・かかりつけ医や介護職等関係機関を含めた勉強会の実施
- ・県民向け公開講座及び関係機関への出前講座の実施
- ・心不全相談窓口の活用推進